

## 2017～2018年度 事業計画

### 会員増強委員会

委員長	平尾圭司
副委員長	松浦充恭(兼)
委員	山岡嗣也(兼)
	田北邦保(兼)

#### ◎活動目標

昨年までの新入会員候補者名簿を、時代に合った職業分類の見直し、そして各会員の業種ごとに勧誘する事により、後1歩に迫った“Challenge to 60 Members !!”を目指す体制を構築する。

#### ◎事業計画

1. 新入会員候補者名簿の見直しを行い、現在の勧誘状況を把握する。(7月)
2. 「会員増強・新クラブ結成推進月間」に適切なプログラムを実施する。(8月)
3. 勧誘者を積極的に通常例会や夜間例会にも招待し、我がクラブの雰囲気を知って貰う。(随時)
4. クラブ内で、新入会員候補者の情報があれば、直ちに効果的な勧誘活動を行い、純増5名を目指す。(随時)

### 公共イメージ委員会

委員長	狩尾元重
副委員長	花房薫(兼)
委員	小谷弘幸(兼)

#### ◎活動目標

クラブが地域社会で実施している奉仕活動が人々の認識と理解を深めロータリーの公共イメージと認知度が向上する様に努める。

#### ◎事業計画

1. 地域社会でのインパクトのある奉仕活動を各種メディアに報道してもらう様に努める。(随時)
2. クラブのホームページの充実、WEBサイトメール連絡網を積極的に活用する。(随時)
3. 9月「ロータリーの友月間」には、「ロータリーの友」の精読促進と友への投稿を依頼する。
4. 地区とクラブ並びにクラブ間のネットワークづくりの推進をする。(随時)

## クラブ管理運営統括委員会

統括委員長 大内基康(兼)

### ◎活動目標

会長方針をふまえ、クラブを円滑かつ効果的に運営する為、当委員会に所属する、出席、雑誌・会報、親睦（R家族）活動、プログラム、ロータリー情報・研修委員会が立案した活動目標や事業計画が、確実に遂行される様務める。

### ◎事業計画

1. 本年の事業開始前に当委員会に該当する所属委員長と共に会議を開催、一年間の活動に関して、意見交換を行う。(6月)
2. クラブ3役、所属委員会と定期的に協議し、事業計画の実施状況を確認しつつ、必要に応じて調整を図る。(随時)

## 出席委員会

委員長	牛窓正規
副委員長	高松良子
委員	平本禎輝(兼)
	渡辺真理子

### ◎活動目標

会員一人ひとりが例会に出席する重要性を確認し、例会の充実を計る。

### ◎事業計画

1. 例会時に出席率を発表し、欠席者にメイクアップを依頼する。(随時)
2. 地区大会、IM、奉仕プロジェクト活動 等に出席する様依頼する。(随時)
3. 前年度100%及び連続100% 出席者を表彰する。(7月)
4. 出席率90%以上を目標に、会員に出席率向上の為、情報提供をおこなう。(随時)
5. 会員が出席しやすい様な環境を新たに考慮する。

## 雑誌・会報委員会

委員長 山本 清彦(兼)  
副委員長 後藤 孝彦  
委員 西村 英昭

### ◎活動目標

「ロータリーの友」の購読を奨励し、クラブ会員がロータリーの情報を取得しロータリアンとしての自覚を深めるように努める。

### ◎事業計画

1. 「ロータリーの友」に掲載されている記事について例会で紹介する。(随時)
2. 週報への投稿を依頼する。(随時)
3. 「ロータリーの友月間」には適切なプログラムを実施。(9月)

## 親睦 (R 家族) 活動委員会

委員長 田北邦保  
副委員長 平田孝治(兼)  
委員 海生俊史(兼) 奥原國雄  
藤本哲智 花房弘幸(兼)  
高松良子(兼) 小谷信行(兼)  
渡辺真理子(兼) 山口圭司(兼)  
山岡嗣也(兼) 平尾佳恵  
後藤孝彦(兼) 三條勝広  
大森栄作(兼) 山本勝  
畑中秀之

### ◎活動目標

会員間の親睦・友好を一層深めより魅力的なクラブとするとともに、会員参加型例会及び会員家族、地域の方々をも含めた親睦の和を広げる活動を実施する。

### ◎事業計画

1. 納涼花火例会 (7月29日)
2. 江田島・呉南RC合同観月例会 (9月19日)
3. 忘年家族例会 (12月19日)
4. 花見例会 (4月3日)
5. 最終例会 (6月19日)
6. 地区行事、社会奉仕行事、親睦活動行事等の参加協力。(随時)

## プログラム委員会

委員長	真鍋公昭
副委員長	景田博文
委員	岩岡三十次

### ◎活動目標

例会の活性化を図る為、クラブのテーマ、重点事項に添い、バランス良く組み込まれる様な有益かつ魅力あるプログラムを実施する。

### ◎事業計画

1. 会員卓話を通じ、会員間の親睦を深められる様なプログラムを実施する。
2. ロータリーの特別月間に応じたプログラムを実施する。
3. 地区大会、地区セミナー、地区 RYLA 等の報告プログラムを実施する。
4. 外部講師による卓話、講演を実施する。
5. 会員間及び家族間の親睦を深める為の、年間数回の夜間例会、家族例会、合同例会を実施する。

## ロータリー情報・研修委員会

委員長	松浦充恭(兼)
副委員長	土岡正和(兼)
委員	小松繁夫

### ◎活動目標

ロータリー情報に於いては「ロータリーの友」「ガバナー月信」等を使用し会員に情報提供を行う。特に新会員に向けて情報集会等開催しロータリアンとして常に資質向上を図っていただく様に努める。研修に於いてはクラブの活動に必要なテーマについて「RLI 研修」を例会で利用して実施し、会員の意識向上と理解を深める様努める。

### ◎事業計画

1. 新会員対象の「情報集会」を開催しロータリー活動を理解して頂く。(随時)
2. 例会時にロータリー情報の時間を通じて情報の伝達を行う。(随時)
3. 研修に於いては、地区 R L I 受講終了会員をディスカッションリーダーとして当クラブに必要と思われるテーマで実施する。  
研修方法については3役、関係者との打ち合わせ等の会議を開催する。(年3回)
4. 地区 R L I 受講希望者を募り推薦する。(適宜)

## 奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 垣谷 広明

### ◎活動目標

クラブの奉仕活動を主導し「明るい街作り」、「夢をつむぐ青少年の育成」、「ロータリー活動の公共イメージ向上促進」の実現を目的とし、今年度 RI 会長テーマ「変化をもたらす」を実践し「全会員総活躍奉仕活動」に向けたプランの策定等に係る協力支援を行う。

### ◎事業計画

1. 各委員会の事業が円滑に実施できる様に協力、支援する。
2. 毎月第一例会にて「四つのテスト」の唱和、第三例会にて「ロータリアンの行動規範」の唱和をクラブ管理運営統括委員会と協力して実践する。
3. 地域でのロータリー奉仕活動の公共イメージと認知度向上につながる継続事業、新規奉仕プロジェクト活動を支援協力する。(随時)

## 職業奉仕委員会

委員長	原	豊
副委員長	後藤 孝彦(兼)	
委員	高木 俊雄(兼)	
	沖松 勉	

### ◎活動目標

ロータリーにおける「職業奉仕とは何か」を再認識し会員一人一人が「職業奉仕」を実践する様に努める。

### ◎事業計画

1. 「会員の健康診断」の実施。(11月・12月)
2. 「ガン予防について」の啓発活動。
3. 「職業奉仕月間」で「職場例会」の実施。(1月)
4. 「優良職業人」表彰。(3月)

## 社会奉仕委員会

委員長	三戸初人							
副委員長	津立宣正							
委員	真鍋公昭(兼)	古野	本口	幸清	三一(兼)			
	山本充恭(兼)	石崎	内永	俊基	史(兼)			
	松浦房薫(兼)	大村			康(兼)			
	花窓正規(兼)				朋(兼)			

### ◎活動目標

地域の為に奉仕活動するボランティア団体やNPO法人との連携

### ◎事業計画

1. 呉市手をつなぐ育成会さんと連携し事業を進めるに当たり地区補助金を活用し和太鼓を寄贈する。(12月)
2. 呉市手をつなぐ育成会・清水ヶ丘高校演劇部・清水ヶ丘高校インターアクトクラブと連携して「交流会」を開催する。(12月10日)
3. 10月「経済と地域社会の発展月間」に適切なプログラムを実施する。
4. 呉市老人クラブ連合会と協力し「大和波止場清掃奉仕活動」を実施する。(年2回予定)
5. 音戸の瀬戸周辺「桜植樹事業」の検証とメンテナンスを随時増やしていく。

## 国際奉仕委員会

委員長	後藤孝彦								
副委員長	織立千明								
委員	狩尾元重(兼)	山本清(兼)							
	久保則昭	土岡正和(兼)							
	野口清一(兼)	松浦充恭(兼)							
	住原勝正	舩本知己							
	平田孝治(兼)								

### ◎活動目標

海外、特に東南アジア地域を中心に新たに国際奉仕活動に対するリサーチを行い実践に向けて努力する。

### ◎事業計画

1. フィリピンアンヘルズ市民病院へ行ったグローバルプロジェクト事業の検証と地元アンヘルズノースロータリークラブとの定期的交流の継続。
2. 新たなグローバルプロジェクトを行うためのリサーチの開始。
3. 新たな海外友好クラブの模索と締結をめざす。
4. 海外における災害への救護活動に対しての資金援助。(通年)
5. ロータリー財団、米山記念奨学会の事業に対しての協力。(通年)

## 青少年奉仕委員会

委員長	平田孝治
副委員長	大森栄作(兼)
委員	梶洋一郎

### ◎活動目標

次世代のより良き未来を創造し、将来への足掛かりとなるよう支援する。

### ◎事業計画

1. 呉市子どもミュージカル「ワンハート」の活動に協力、支援する。(11月26日)
2. 地区「RYLA」に参加する。(11月11日柳井市)
3. インターアクト活動への協力。(随時)
4. ポリオ・プラスへの支援・障害者支援への寄付活動。(通年)
5. 地域内新世代活動への協力支援。  
中学校野球大会(7月)  
呉少年剣道錬成大会等(10月)



## インターアクト委員会

委員長	花房	薫			
副委員長	三戸	初人(兼)			
委員	坪川	禮巳	神田	耕作	
	平本	禎輝	山岡	嗣也	

### ◎活動目標

清水ヶ丘高等学校インターアクトクラブのメンバーが、例会や各種奉仕活動を通して、インターアクトの目標である建設的な指導力の養成と自己の完成を図り、他人に対する思いやりと他人の力になる心構えの奨励と実践を行い、家庭と家族の重要性に対する認識と個人の価値を認める考え方に立脚して他人の権利を尊重する観念を養い、個人的成功、地域社会の改善と団体としての業績向上のために各自が責任を果たせるように努力し、国際理解と親善を推進できるように、指導・協力を行う。

### ◎事業計画

1. 毎月1回のインターアクト（IA）クラブ例会へのロータリアンの参加協力  
(原則として第3火曜日)
2. RI 第 2710 地区 IA 地区大会（山口・高川学園）への参加（7月29・30日）
3. 呉本通花壇の植栽への協力（11月、6月）
4. 世界インターアクト週間における適切なプログラムの実施（11月）
5. 呉市交通遺児救済街頭募金活動への参加（1月）
6. RI 第 2710 地区海外研修旅行への補助（3月）
7. 卒業生送別例会、新入生歓迎例会への参加（3月、4月）
8. 呉こども祭への参加（5月）
9. RI 第 2710 地区 IA 指導者研修会への参加（5月）
10. RI 第 2710 地区 IA 顧問教師懇談会への参加（6月）
11. ボランティア証明書の発行（適宜）
12. IA メンバーが行う校内活動、各種奉仕活動への協力（通年）
  - ・呉南 RC 主催の奉仕活動行事
  - ・校内清掃奉仕・花壇植栽、学園祭での活動展示
  - ・本通商店街での各種ボランティア 等



## ロータリー財団統括委員会

統括委員長 土 岡 正 和

### ◎活 動 目 標

ロータリー財団の目的と使命を会員に理解していただき、財団への寄付に対して協力を頂けるよう活動を行う。

### ◎事 業 計 画

1. 11月の「ロータリー財団月間」に、ロータリー財団の使命と目的が理解出来るようなプログラムを実施する。
2. 「地区補助金プロジェクト」に対して会員に理解してもらい、協力と参加をお願いする。
3. 地区目標の「年次寄付」の達成に努力する。
4. ポリオ・プラス委員会のプログラムへの協力支援を行う。
5. 国際奉仕委員会への協力支援を行う。
6. 次年度の地区補助金プロジェクトの為に、社会奉仕委員会、職業奉仕委員会との協議を行う。

## ポリオ・プラス委員会

委員長	高 木 俊 雄
副委員長	亀 本 興 紀
委員	石 丸 學 治
	沖 本 恭 治

### ◎活 動 目 標

ポリオ撲滅推進の情報提供と、会員の募金協力、支援を求める。

### ◎事 業 計 画

1. 例会時に、ポリオボックスを設置し募金をお願いする。(随時)
2. 会員各位による寄付金、ゴルフ同好会にチャリティーゴルフ開催等お願いする。  
(適宜)
3. 最新のポリオ・プラス情報を提供する。(随時)

## 米山記念奨学委員会

委員長 野口 清 一  
副委員長 久間 利彦  
委員 大内 基康(兼)

### ◎活動目標

米山記念奨学会は、民間外交として世界に平和の種を蒔き、未来に向かって平和の架け橋をかけてくれる様な人材を育成する事を目的に、優秀な留学生を奨学することでありその目的を理解し、その事業活動を支援、協力する。

### ◎事業計画

1. 普通寄付を例年通り実施する。(通年)
2. 特別寄付を奨励する。(通年)
3. 「米山月間」には米山奨学生、レー、ティウン ドン君による卓話をお願いする。  
(10月)
4. 米山記念奨学生の修了式を行う。(3月)

## ビジョン委員会

委員長 海生 俊史  
副委員長 奥先 憲太郎  
委員 大須賀 益治 坪川 禮巳(兼)  
加藤 忠二 山上 亀一郎  
亀本 興紀(兼) 木村 法蔵  
平本 禎輝(兼) 神田 耕作(兼)  
高木 俊雄(兼) 原 豊(兼)  
久間 利彦(兼) 岩岡 三十次(兼)  
幟立 千明(兼) 狩尾 元重(兼)  
山本 清(兼) 垣谷 広明(兼)  
大内 基康(兼) 小松 繁夫(兼)  
土岡 正和(兼) 松浦 充恭(兼)

### ◎活動目標

時代の変化にともなって変動するロータリー活動に対応するため長期計画目標を立案しクラブ発展に寄与するよう努力する。

### ◎事業計画

1. 年3～4回委員会を開催し、活動目標のとおりクラブにとって必要な長期計画を提言する。
2. 2016年の規定審議会で決定されたクラブ運営の柔軟さに関する規定に理解を深めてクラブの活性化が計れるよう地区戦略計画委員会との連携を密にする。

## 会場監督 (S.A.A) 委員会

---

委員長	石崎俊史
副委員長	大森栄作
委員	小谷弘幸

### ◎活動目標

呉南 RC の伝統に則り、例会がその使命を発揮出来るよう設営し、気品と風紀を保ち秩序正しい例会が運営されるようマネジメントする。また、奉仕活動の原資となるニコニコ基金への理解を頂き、円滑な奉仕活動が出来るように基金を募る。

### ◎事業計画

1. 三役、各委員長と連絡を密にとり、円滑な例会設営と運営を行う。
2. ニコニコBOX を設置して、ニコニコ基金、ペコペコ基金を募る。
3. 会員同士の交流が図れるように、例会席の指定席を工夫して実行する。
4. 例会行事中は、気品のある例会運営に努める。
5. 毎例会とも「禁煙例会」を実施する。
6. クラブ訪問者、来賓の方に配慮した会場設営を行う。
7. プログラム委員会と協力して「例会プログラム予定」「行事予定」を例会場に掲示するとともに、「ロータリー特別月間」も併せて掲示する。
8. 例会の食事について工夫していく。

## 会 計

---

宇都宮 昭 憲

### ◎活動目標

クラブ資金の予算の策定を行い、年間を通じて資金の管理を行い、常に財務状況を把握しておく。また、その状況について、理事会や例会にて報告を行う。

### ◎事業計画

1. 三役並びに各統括委員会、委員会の事業計画に基づいて、年度予算書を作成する。
2. 正確な会計処理のチェックを行なうとともに、予算の執行状況を把握する。
3. 各統括委員会、委員会で実施される事業にかかる経費が全体予算内で賄われるように三役、理事会で協議し調整を図る。
4. 2017-2018 事業年度の例会において
  - ・予算説明（7月）
  - ・上半期決算報告（1月）
  - ・決算報告（次年度7月～8月）を実施する。
5. 会計監査を依頼する。